

第2次行財政再構築プランの平成25年度末進捗状況 及び

平成26年度当初計画について

行財政再構築の着実な推進を図るため、第2次行財政再構築プランの進捗状況については、庁内の行財政改革推進本部に報告し、評価を受けるとともに、半期ごとに有識者・市民により構成する行財政再構築推進委員会に報告を行い、意見や助言をいただくこととしています。

今回は、各プログラムの平成25年度末の進捗状況に加え、平成26年度当初の計画について、報告します。

1 各プログラムの平成25年度末進捗状況

平成25年度末の各プログラムの進捗状況について、スケジュールの進行状況及び成果指標に基づき評価を実施したところ、全62項目（再掲1項目）の取組のうち、1項目が「予定以上に進捗」、59項目が「予定どおりに進捗」、2項目が「予定よりも遅れている」となりました。

【表1】各プログラムの進捗状況（平成25年度末）

分野	予定以上に 進捗 (S)	予定どおりに 進捗 (A)	予定よりも 遅れている (B)
I 地域協働の推進 (15項目)	0	15	0
II 情報の共有と双方向のコミュニケーション (5項目)	1	4	0
III PDCAサイクルの構築 (7項目)	0	7	0
IV 財政基盤の強化 (18項目)	0	16	2
V 執行体制の再構築 (17項目)	0	17	0
計	1	59	2

【参考1】着実に進んでいる主な取組（例示）

予定以上及び予定通りに進捗している取組から、平成25年度末に成果を上げた例をお示します。

No.2 庁内等における協働推進体制の充実

【参事（市民協働）】

取組の概要	職員等の意識改革を進め、協働を実施する際の取り組み姿勢（協働の原則）の理解促進を目指す取組	
25年度の年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員に向けた研修の実施。 ・庁内研修と市民講演会の開催。アンケートでは8割以上の満足度を得るようにする。 ・ハンドブックについて完成に向けて内容の最終案を作成する。 ・協働の評価について引き続き検討する。 	
25年度末の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員研修を実施（4月3日） ・職員研修（11月5日）、市民向け講演会（2月1日）を開催 ・協働をテーマにした職員課主催の研修について、NPO活動の体験研修に係る支援を行った。 ・職員向けハンドブックについて、市民活動支援センター及び協働推進庁内検討会議の協力及び調整を経て作成し、3月に各課・係へ配布。 ・評価内容等について、次の事業に反映しつなげていくことを意識して検討した。 	
成果指標の達成状況	成果指標	市民及び職員に対するアンケート結果
	25年度実績	アンケートの回答から、8割以上の満足を得た。
成果達成に資する取組	先進市を視察するとともに、庁内における協働の取り組み調査や協働及び地域コミュニティに関する意識・実態調査を実施するなど、広く情報収集を行うとともに現状把握に努めた	



＜研修会の模様【大会議室】＞

＜市民向け講演会でのパネルディスカッションの様子【中央公民館】（下）＞



No.7 協働事業の推進（スポーツボランティアの育成） 【体育課】

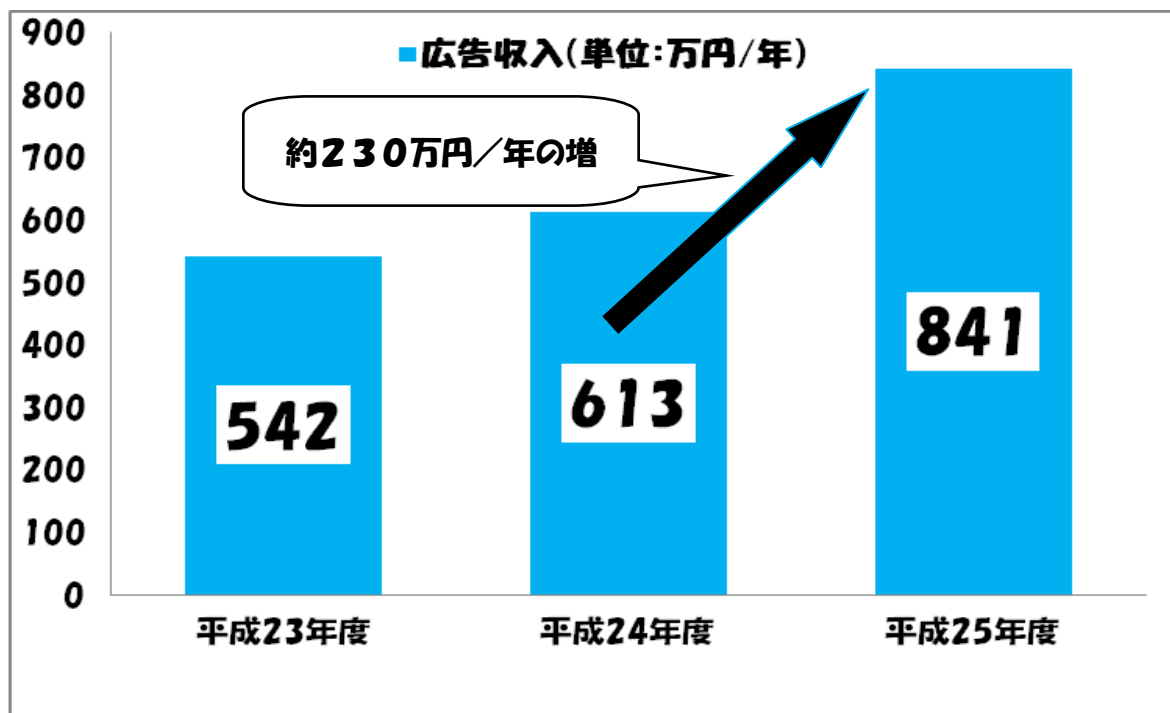
取組の概要	地域でのスポーツ指導やニーズの異なる各世代のスポーツ活動を支えるため、スポーツボランティアを育成する取組	
25年度の年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年度を通じてさまざまな体育事業の運営に携わる。 ・『スポーツ祭東京 2013』にて、ボランティアとして大会運営に寄与する。 ・スポーツボランティア研修会を開催し、スポーツ指導等について研鑽を積む機会を設けるとともに、ボランティアの意義や必要性についての周知を図る。 	
25年度末の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・9月29日(日)・30日(月)に開催された国民体育大会において、ボランティアスタッフとして従事。 ・市民スポーツまつり(10月開催)、新春歩け歩けのつどい(1月開催)、こだいら市民駅伝大会(2月開催)において、受付や誘導等で従事。 ・1月に実施した研修会では「レクリエーション」について学び、スポーツボランティア同士の交流の機会となった。 	
成果指標の達成状況	成果指標	スポーツボランティアの活動実績
	25年度実績	さまざまな体育事業にボランティアとして参加登録者数:92名(前年度:60名)
成果達成に資する取組	国民体育大会においてスタッフとして活動した他、市民スポーツまつりや駅伝大会など多くの事業に積極的に従事	

<『スポーツ祭東京 2013』でのボランティアの様子>



No.35 広告収入の確保 【財政課】

取組の概要	市の新たな自主財源を確保する取組	
25年度の年度計画	平成24年度に行った調査を踏まえて各課と調整を行う。また、市のホームページなどを使い広告募集一覧で広告主を募集する。	
25年度末の進捗状況	市ホームページバナー広告については、新たに広告枠数を増やし、収入の確保に努めた。 また、新たにリニューアルする小平市防災マップに広告の募集を行い、1枠3万円、最大で合計4枠12万円の広告収入があった。	
成果指標の達成状況	成果指標	広告収入（目標）500万円／年
	25年度実績	広告収入 841万円／年
成果達成に資する取組	市のホームページ、刊行物などを数多く広告媒体として有効活用し、広告収入の確保に取り組んだ	



【参考2】 予定よりも遅れている取組一覧（2項目）

No	項目名	平成 25 年度末 進捗状況	要因と今後の対応
33	介護保険料の収納率向上対策の実施	現年分保険料の収納率は目標達成したものの、 <u>滞納繰越分保険料の収納率の目標未達成</u>	<p>【要因】 厳しい経済情勢において、滞納事案が減少せず、徴収も困難化するケースが増えているため。</p> <p>【今後の対応】 平成 26 年度より、消費税増税など、より厳しい環境となっていることから、より効果的な滞納整理を検討・実施</p>
34	受益者負担の適正化(使用料・手数料の見直し)	減免基準の見直しの考え方について検討を進めたものの、 <u>とりまとめに至らず</u>	<p>【要因】 減免基準を設定するにあたり、その適用団体の判断基準に関する調整が難航したため。</p> <p>【今後の対応】 引き続き、減免基準の見直しの考え方の策定に向けた取組を実施</p>

2 各プログラムの平成 26 年度当初計画

各プログラムについて、第 2 次行財政再構築プランに設定されたスケジュール・成果を達成するよう、平成 26 年度当初計画を設定しています。その中で、平成 26 年度に新規の取組を予定しているプログラムの一覧を以下のとおり例示します。

なお、第 2 次改革推進プログラムは、取組の 3 年目にあたる昨年度末に、後半の平成 26、27 年度の 2 年間のスケジュール等を、社会経済状況の変化等に合わせて見直しております。

【参考】平成 26 年度に新規の取組を予定しているプログラム（12 項目）

No	項目名	平成 26 年度新規事項
2	庁内等における協働推進体制の充実	協働に関する職員向けハンドブックの活用
8	協働事業の推進 (安全安心まちづくりの推進)	自主防災組織の結成の推進
12	地域コミュニティの形態や期待される役割等についての検討	◆学園東町地区地域連絡会の開催 ◆学園西町地区での地域連絡会も引き続き実施
13	自治会等に対する支援のあり方の検討	
31	市内産業の育成	観光まちづくり推進体制の確立
52	公共施設に係る組織横断的なマネジメント体制の構築に向けた検討	データ集の分析・課題整理及び(仮称)公共施設白書の作成
53	公共施設の維持管理・エネルギー使用の適正化	エネルギー使用状況の「見える化」
54	地域センターのあり方の検討	地域連絡会等を踏まえたあり方の検討
55	公民館のあり方の検討	公民館のあり方の見直し
57	指定管理者制度の推進	市民総合体育館への制度導入
60	公金支払い手続きの電子化等の推進	市税四税のクレジットカード納付及び保育料のコンビニ納付開始
61	内部情報システムや住民情報システムの再構築	文書総合管理システムの再構築